



「みえ生と死を考える市民の会」会報
第18号
 発行 平成27年12月1日
 発行責任者 大西和子
 連絡先 伊勢市御園町高向927

発足一七周年記念講演会

日時 平成二七年六月二一日(日)

一三時～一五時

会場 三重県総合文化センター中ホール

参加者 五一〇名以上

演題

「輝いて生きるために」

ユーモアのすすめ



講師 アルフォンス・デーケン氏

***講師紹介略歴**

アルフォンス・デーケン Alfons Deeken

哲学者。上智大学名誉教授、東京・生と

死を考える会名誉会長。一九三二年ドイ

ツ生。六五年カトリック司叙階。七三年

フォーダム大学大学院で哲学博士の学位を

取得。五九年に来日後、三〇年にわたって

上智大学で「死の哲学」などの講義を担当。

九一年「わが国に初めて死生学の概念を

定着させた」功績により第三九回菊池寛賞

受賞。九九年第一五回東京都文化賞受賞。

著書『心を癒す言葉の花束』（集英社新

書、二〇一二）、『新版 死とどう向き合う

か』（NHK出版、二〇一一）、『よく生き

よく笑いよき死と出会う』（新潮社、二〇

〇三）、『ユーモアは老いと死の妙薬』（講

談社、一九九五）、『第三の人生』（南窓社、

一九八四）など。

「みえ生と死を考える市民の会」の発足記

念講演から一七年振りにデーケン先生のお話

をお聴きして、ユーモアを交えながらの流暢

な話し方は変わっていないと感心しました。

講演内容は、1. 「幸せとは」を考えると、

逆に不幸な人の特徴を考えると、

2. 「人生における喪失体験と人格成長」

は、悲嘆を乗り越え、新しい生きがいの再考

ができること。3. 「発想の転換」は、死へ

の準備教育、思いわずらいから解放すること、

自分自身の課題に挑戦すること。4. 「ユー

モアに満ちた人間関係を築く」には、愛と思

いやりのあるユーモアであること、などにつ

いて話された。あつという間の九〇分間でし

たが、一人ひとりが輝いて生きるためのピン

トを得られたのではないかと思います。(〇)



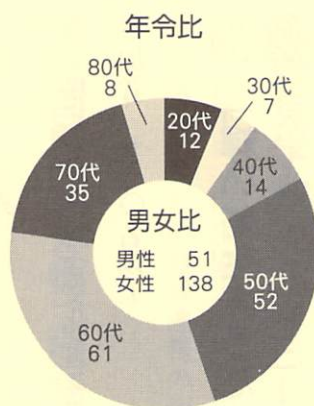
住まい

県内

桑名市	1	大紀町	1
四日市市	13	亀山市	2
鈴鹿市	28	東員町	1
津市	93	玉城町	1
松阪市	13	尾鷲市	1
伊勢市	26	菰野町	1
伊賀市	2	川越町	1
紀北町	1	多気町	1
いなべ市	2		

県外

名古屋市	3
尾張旭市	1
東海市	1
瀬戸市	1
大阪府	1
愛知県	1



参加者アンケート感想文(抜粋)

感想 男性

- 1 学生の時に授業でデーケン先生のビデオを拝見しました。今回初めて聴講させて頂き、とても勉強になりました。(20代)
- 2 通信制の大学でレポートを書く際に先生

- の文献を参考にしたと記憶しています。それでお名前を知っていて今回の講演会に参加しました。外国人ならではの口調が印象的でした。来場者に年配の方が多かったのはおどろきました。(40代)
- 3 ユーモアの大切さがわかりました。
ユーモア=Love (50代)
- 4 大変わかりやすくおもしろかったです。ミニコンサートもすてきでした。(50代)
- 5 デーケン先生の愛にあふれたユーモアのすすめ、すばらしい講演ありがとうございました。(60代)
- 6 ユーモアに満ちた大変有意義な話で心にしみました。(70代)
- 8 自分の生きるためのヒントとなるような考え方を多く学べた。お話がとてもおもしろく夢中で聞いた。(20代)
- 9 ユーモアの大切さを知れて良かったです。(20代)
- 10 Danke Schen! (20代)
- 11 死を考えることは生きることを考えること、ユーモアによる他者への思いやり、とても勉強になりました!(30代)
- 12 怒りや憎しみを手ばなそうと思いました。(30代)
- 13 非常に含蓄のあるお話でした。(40代)
- 14 何度も笑いました。むずかしいことはわかりませんが有意義な時間をすごせました。(40代)
- 15 非常に勉強になりました。またこういう機会を設けていただければと思います。(40代)
- 16 たいへん勉強になりました。色々考えることが多かったです。生きる力をいただきました。(40代)
- 17 今後の人生についてより明白になったよ
うな気がします。(50代)
- 18 素晴らしいお話でした。心に残る言葉を大切にします。(50代)
- 19 心が少し洗われた様に思います。ユーモアのススメ良かったです。ミニコンサート良かったです。(60代)
- 20 著書では感じられなかったことがよくわかりました。(60代)
- 21 ユーモアは人への愛、与えられることができるように努力したい。(60代)



22 残りの人生を生きるためのいいヒントを
沢山頂きました。(60代)

23 大変楽しくユーモアあふれるお話を聞く
ことができました。その中に色々考える
(考えさせられる) ことがありました。思
いあたるのがたくさんありました。死ま
ではどのくらいの時間があるのかわかりま
せんが充実した残り時間をすごしたいと思
いました。(70代)

24 これからの残り少ない人生を考えさせら
れる講演でした。(70代)

25 硬い話題テーマを柔らかい言葉で解説し、
リラックスして聴くことができました。自
分で輝いて生きておられ、参考になりました。
た。(70代)

26 前座音楽すばらしく、デーケン先生の話
わかり易く大切な視点を示され感激。

(70代)

27 日本人以上に言葉が上手なものにはビック
リ！ユーモアたっぷりで時間の過ぎるのが
早かった。(70代)

28 難聴ぎみの私には初めは少々聴きづら
かった。それぞれ感銘深いお話でしたが、
遺言状は最後の愛、ユーモアは、思いや
りと愛の表現、は特に印象深い言葉でした。

(80代)

した。また、死についての話は何度聴いて
も損はないと思います。(20代)

2 パンフレットに講義の概要が書かれて
あったのがよかった。(20代)

3 大変有意義な時間でした。カイロスの時
間でした。来年も楽しみにしております。

(20代)

4 死とユーモア、一緒になることが考えら
れませんでした。今日お話をきいて良い
と思いました。(30代)

5 相手を思いやるユーモア、実践する努力
をします!! (40代)

6 手作り感のある会場づくり素敵でした。

デーケン先生のがおえ、看板、毛筆の演
幕(40代)

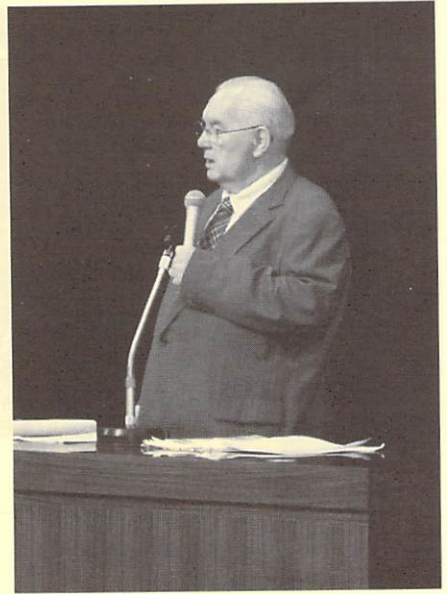
7 二六年ぶりにデーケン先生に会えてうれ
しかったです。明日からがんばろう!

(40代)

8 デーケン先生、とても素敵な先生で初め
てお話を伺いましたがとても充実した時間
を過ごせました。本日この機会を作ってく
ださったスタッフの方々と誘ってくれた友
人に感謝しております。(40代)

感想 女性

1 今日の講演はためになることばかりでし
た。大学でも同じような講義を受けたこと
がありますが、このような死についての話
は全ての人間が考えるべき課題だと思いま



- 9 たのしくきかせて頂きました。また、ききたい 本ほしい。(40代)
- 10 デーケン先生のユーモアにあふれたお話で、たくさん笑うことができました。私は老人ホームで働いており、死に触れることは多かったのですが、肉体的な死を向かえる前に、心理的、社会的、文化的な死があり、最期までより良く生きるためにはこの三つについてもっと考えないといけないことを知りました。今日は本当にありがとうございます。(40代)
- 11 日常生活を送っていく上でも大変参考になるお話でした。ユーモア最高!! (50代)
- 12 約一〇年前、二〇年前にもデーケン先生の講演をきかせていただき今回三回目でした。デーケン先生のユーモアにも磨きがかかり、お話は深みを増しやっぱり来て良かったと思いました。死をタブー視することなくしつかり向き合って考えることは、よく生きることにつながる大切なことと思いました。(50代)
- 13 死の準備教育を義務教育の中に入れるべきと思います。(50代)
- 14 とても楽しくテーマは遠いと思っていましたが、生きるということについて前向きに明るくとらえ、今の生活をすごす事ができる様な気がします。すばらしい講演でした。いい時間をありがとうございました。(50代)
- 15 オープニングのミニコンサート、初め絵本!! と思いましたがとてもすんだ歌声、やさしいかたり、心が洗われました。感動しました、また聞きたいです。(50代)
- 16 内容的にむずかしかったと思いますが、ユーモアを所々に入れてもらい笑いがあリよかったです。明日から一日一回ユーモアを言うようにしたいと思います。(50代)
- 17 生きていく中、ユーモアを上手くつかって、自分を輝かせていきたいと思った。(50代)
- 18 ユーモアの大切さ、職場でも学んでいきたい。(50代)
- 19 音楽療法士さんの生の絵本、デーケン先生の講演がとても死を考えるための序走になりました。笑うって大切! ユーモアって大切ですネ。(50代)
- 20 ユーモアと思いやりについて、これからも深く学びたいと思います。(50代)
- 21 二七年前に、ご講演をきかせていただきました。その時大変楽しいお話で死に対する考え方について感銘を受けました。本日の講演内容は、ユーモアがありつつ、誰もが必ず迎える死はどう生きるかにつながることで、グリーンケアの大切さについて考える内容でありさらに、自分の人生を考える機会になりました。貴重な時間を過ごせました。(50代)
- 22 すばらしかったです。さいごのウイスキーとタバコのエピソード、涙が出ました。母の最期を想い……(50代)

23 私は「物を手放すことの出来ない人間」

だとは自覚していたが「手放す心のない人間でもあった」のではと思ひ、色々反省した。クロノスとカイロス・・・とても興味を持った。^{*}（50代）
（*ギリシャ語 量的時間と質的時間）

24 いくつか心に残る言葉（お話）をいただきありがとうございます。自分自身や家族と重ね合わせこれからの毎日にかかしていきたく思ひました。（50代）

25 質のいいユーモアを身につけたく強く思ひました。潜在能力を上手に使って！（50代）

26 とてもいい時間でした。オープニングもよかったです。（50代）

27 照明がステージの看板を明るくしすぎて絵本が見にくかった、客席をもう少し暗くしてほしかった。講演はとても気楽にきけておもしろかった。（50代）

28 日々の生活、自分の感情の特性について振りかえることができた。（60代）

29 人生最後の酒とタバコのお母さんのお話、私はどうしようかと考えてしまいました。（60代）

30 まず、頂いた資料の中でも素晴らしい言葉に出会えて嬉しかったです。ユーモアの大切さは勿論ですが、潜在的能力の可能性は、大変興味があります。元気を頂きありがとうございます。（60代）

31 人のために役に立つ人生を送ります。（60代）

32 デーケン先生のお話はとてもよく心にひびきました。人生死ぬまで勉強をしていきます。（60代）

33 久しぶりでデーケン先生の生のお声を聞かせていただき嬉しく思ひました。私も人生の後半に入っています。ユーモアを忘れず生きていけるように先生を見習っていきたく思ひます。感謝！（60代）

34 期待以上に素晴らしい講演でした。東京へも拝聴に行きたいと思ひました。（60代）

35 ジョーク、ユーモアの大切さ日本人には不足気味と実感。（60代）

36 年令を感じさせない講演に感動しました。ユーモアを大切にして働きたいと思ひます。（60代）

37 ミニコンサート、心が和みとても良かったです。（60代）



たです。優しく美しい声に心が癒されました。幸せとは、とか、ユーモアに満ちた人間関係等について詳しく教えて下さりありがとうございます。第三の人生への課題に向かつて少しづつ準備してゆきたいです。（60代）

38 先生の話一七年前と今の年齢、立場で学びの違いを感じました。自分の老いを考える時期になって生活の質（生きがいのある

生活)と第三の人生の課題の必要性を感じる時間でした。(60代)

39 ミニコンサートもとても癒されて良かったです。デーケン先生二回目。まだまだ若々しくとてもユーモアいっぱいのお話で良かったです。あらためて生きる意味を考へることも出来て人生の整理がつけられそうです。今日が大事です。(60代)

40 癌の手術を受けて三年目、再発や転移の可能性もあり常に死を意識しています。自分の残された時間をいかに生きるか答えを出せないその中でこの講演をきいて私も50%だと思いました。一ヶ月前最愛の母との別れもあり、又改めて死に対して深く考へ、受けとめる為のお教え受けられ感謝します(60代)

41 リーフレットの笑顔がとてもさわやかで、こういう表情の御方のお話は、きくとすばらしいだろうと大いに期待をしてまいりました。キ・タ・イ通り!!世界はひとつ愛のところが満ち満ちてスマイルの溢れた世界になりますよう、今日のデーケン君のよう!!(70代)

42 大変すばらしい!デーケン神父様感謝!

主催者の皆様にも心より感謝!(70代)

43 いつも良い講演を計画して頂きありがとうございます。デーケン先生のお話は心やすらかになります。(70代)

44 ユーモアが如何に大切か痛切に感じました。(80代)

45 死の床でユーモアが言える人になりたいと思いました。(80代)

46 久しぶりに心から笑いました。ありがとうございます。(80代)

勉強会報告

平成二六年度 第二回勉強会

日時 平成二六年一月二二日(土)

一三時三〇分

場所 三重県総合文化センター

男女共同参画センター

(フレンテみえ)生活工房

参加者 二三人

演題

「終の棲家」

森 美由紀氏



感想

誰もが人生の最後は心安らかであれと願う。そのためには暮らしの節目、節目に自分の終い支度について考えてみる必要がある。それも深刻にならないで明るく。自分の意志を記録に残し、家族や周囲に話しておくといふこともわかった。老後の身体状況がどうなっているか、いつその時が来るのか、誰にもわからないからこそ、確かな準備をして不安のない日々を送りたいと思つた。(K)

参加者アンケート感想文(抜粋)

1 自分の身内がポツポツと亡くなる年齢になり、職業上のこともあり、今日の会に参加させていただきました。森先生のお

話、遠藤先生のお話、大変勉強になりました。お元気な高齢の方のお話は、自分の身内、いずれ自分が辿る道として聴かせていただきました。自分や身内の最期について明るく前向きに話ができるようにしたいと思いました。

2 とても参考になりました。知らなかった現実を教えてもらいました。互いに死を楽しく考えていきたいです。ありがとうございます。

3 我が夫婦にとって大変リアルに響く内容のご講演でした。サ高専住も一つの選択肢として、考えてみたいと思いました。お金は有効に生きた使い方をすべきと思いました。友人や社会とのつながりをもちつつ生きたいと思います。

4 参加して新しい部分の知識がきけて良かった。地域によって差があることもわかったので良かった。それぞれの考え方もあって自分の考え方と違う部分を検討していきたいと思った。

5 とても参考になりました。最終的には自分で決めることですね。一人ぐらしは自由

で自分の好きなように暮せます、さびしさはその代償かも知れません。

6 森さんのご紹介下さったマンションは自立して生活し、安心して過せる場としてこれからこのような施設が増えていけばいいなと思います。高齢者は階段が大変ですし、エレベーターも足に地がつかない感じ、出来たらグループホームくらいの単位で、平屋で庭や畑もあるところ。お医者や看護師さんについて頂くには、少人数の施設では無理でしょうから、グループホームが四つ、五つ集合した環境があれば、と。今後新しく出来ていく施設のモデルになってほしいです。



7 一軒屋では庭の草とり等大変ですのでマンションに替りたいと思ったのですが、マンションでの問題も聞き考えをかえました。痴呆になる前におこななければならぬ事が沢山あると感じました。

8 「終の棲家」のお話、はじめは、施設の話かと思いましたが、終の棲家は今の居場所を活かす考えを勉強させていただきました。私の場合、家族の終りに立ち会うだろう息子と話すことが急務と思ったことが収穫でした。両先生、ありがとうございました。

9 生と死を考える市民の会の発展を希望します。たいへん身近な話で役にたった。自分でも何ができるかということを考えておく必要があると思いました。貧富の差が大きくなり、死に場所にも影響が及んでいる時代になったことを実感しました。ありがとうございます。

10 来年は八三才一人暮らし。いろいろありますが、元気でいたいと思います。静かに一人で人生の暮をとじたいと思いますが？昔の田舎暮らしの中、協力はなかなかむずかしいですね。大きいゴミ出し、掃除、防災訓練。

12 私にとつてはまだまだ先の事と思つていますが、明日がわからない時代ですから自分の有り方は文章にして残しておきます。

13 想像していた会とは違いましたが、実際の皆さんが感じている事等を聴けて、とても勉強になり、仕事でも参考にさせていただきますらおうと思いました。一人暮らしの高齢者さんの生の声、現状を知る事が出来ました。日頃、認知症の方と接している為、看取りのときどうさせてもらうのが一番良いのか?…とても悩む所です。家族の思いも含め悔いのなるべく残らない最期を迎えて頂く為に今後も頑張つていきたいと思ひます。ありがとうございます。

14 どういう老後を迎えたいか、ばく然と思つてもなかなか本腰を入れて考えることがなかった。法事など親族が集まつた時に明るく話題にするとよいということを知り、そこから始めてみたい。

15 本日の講師さんは、資料の渡し方など工夫され、お話も上手でした。グループでは孤独死のことも話題となり、交流もザックザクにできました。日本は本当に豊かな

国とはいええず、弱者いじめの醜い政府です。ドアホノミクスなど早くつぶして福祉国家を築きたい!!

施設見学会

日 時 平成二七年二月一四日(土)
場 所 「いすゞガーデン」伊勢市
参加者数 一七名

いすゞガーデン見学会に参加して

最近、サービス付き高齢者向け住宅が話題になっていますが、いすゞガーデンもその一つです。五十鈴川駅から徒歩二分のところにある、屋上に上がると伊勢湾に面した美しい山や海が見渡せ、伊勢神宮に詣でる人々を見ることができると好評な条件下にあります。また、入院施設のある診療所を併設し、介護保険の二四時間対応も受けることができ、高齢者のもつとも不安である健康問題に対応してもらえることが魅力です。入居者と一緒に昼食を頂き、日常生活について実際の話を伺う

ことができたのはたいへんよかったです。

(〇)

① 病院と連携しているのは魅力的です。安心感があります。

② 食事が施設内で作られていない、外注であるのは残念です。栄養士の介入とか、入居者の身体的状況などへの細やかな配慮は無理でしょう。

③ お風呂場は窓がなく狭い浴室でしたが、大きい浴室で共同風呂もほしい気がしました。

④ 住人同士の交流がまだ育っていないような感じがします。お客様ではなく生活の場での主人公になってこそ「住まいは人権」の実現があります。まだ新しい施設なので今後の課題でしょうか、施設の理念にそのような考えがあるかどうかも知りたいところです。

⑤ ヴォランティアの参加もまだ少ないようにお住まいの方から聞きました。これもまだ新しい施設なのでこれからでしょう。

⑥ 駅やスーパーも近くにあり便利などころなので、元気な方たちには外出しやすいでしょう。食事の時会話できた男性は、元

の住居の老人会にも出向いて楽しく暮らしておられるご様子でした。(Y)

第十八回(平成二十七年)総会報告

日時 平成二十七年四月一九日(日)
場所 三重県総合文化センター

生涯学習センター 視聴覚室

司会進行 田川

一、挨拶 会長 大西

会設立よりまもなく20年を迎える。今後の会のあり方について考える時期に来ている。高齢者だけではなく、子どもも含めた取り組みも必要ではないかと思う。皆さんにもご意見をいただきたい。よろしくお願ひします。

二、議長選出 遠藤

委任状六八名 参加者一四名

三、議事

(一) 平成二六年度活動報告

事務局長代理 橋本

(2) 平成二六年度決算報告

会計 樋口

(1)(2) 議事一括審議

(1)(2) 承認

(3) 平成二七年度活動計画(案)

事務局長代理 橋本

(4) 平成二七年度予算(案)

会計 樋口

(3)(4) 議事一括審議

(3)(4) 承認

(5) その他 会場からの発言

昨年の講演会「いのちのバトンタッチ」非常によかった。再度聞きたい。青木新門先生の講演を聞いた方も、聞いたことのない方も聞いて欲しいと思う。とてもよかった。

会について、知らない人は宗教に関係があるのか?と思う人もいる。会の発足経緯や趣旨について、毎回簡単に紹介していただくと会の理解が進み入会しやすいのではないか。

施設見学は県外施設の見学もよいのではという意見もある。

平成二十七年 第一回勉強会

日時 平成二十七年四月一九日(日)
場所 三重県総合文化センター

生涯学習センター 視聴覚室

参加者 三五名

演題

「自殺願望を持つ人を考える」
カウンセラーとしての経験から



講師
内田 ビューネ イレーネ

*講師紹介略歴

一九四三年生まれ、スイス国籍。名張市在住。一九六七年スイス東アジア・ミッション(教会団体)から日本人の夫と共に日本に派遣される。一九七〇年より三重大学を中心に五つの大学でドイツ語講師を務めてきた。一九九八年、心理カウンセラー資格を取得。同年より三重大学の委嘱で外

国人学生のカウンセラーに就任、同大の学生カウンセリングを開拓し、現在は全学生対象の学生相談室に心理カウンセラーとして勤務。箱庭療法を専門としている。

あと二年で在日五〇年になるイレーネ先生は、ご自身の異文化体験と長年の大学でのお仕事を通して、内容豊かなお話をしてくださいました。河合隼雄先生の教えも受け継いでおられて、いくつかの事例を紹介して話されカウンセリングの大切さもよくわかりました。一般の日本人より深く日本の昔話や源氏物語にも本質的な理解がおりで感心しました。箱庭療法は医薬の代用にもなるとのこと、納得しました。しかし日本ではまだカウンセ



ラーが不足しているし、自ら進んでカウンセリングを利用する習慣も残念ながら少ないように私は思います。

「あの明恵上人がおいしい肉料理を私のために作ってくれた、その味は忘れられない！」そんな驚くべき夢を見たというこの女性は天与のパワーの持ち主ではないでしょうか。今日のお話で女性はとくにエネルギーを授かった感じですが、男性はいかに？ 講演後の質問や意見交換も活発で、あつという間の楽しい充実した九〇分でした。(Y)

参加者アンケート感想文(抜粋)

めて気が付いた。

4 箱庭の話、自殺についての話など、とても参考になりました。

5 今までボケーと生きてきたことが幸いだったのか、不幸だったのか考えさせられました。今どう生きようかもがいている自分。たぶん不幸だったと思います。私は野生動物の生き方が好きで、本や映像を好んで見ますが人との関係から逃げたいとおもいました。が、深層心理は不可解でわかりません。熱っぽく話されました先生。会員さんのお話も参考になりました。

6 先生の暖かい人柄は伝わってきましたが、話があちこちに飛んでしまうのが残念でした。

7 沢山のケースをもとにいろいろなお話を聞かせて頂き、生と死を考える機会を頂きありがとうございました。共通の解決法は無いと思いましたが、よりよく生きることが、よりよく生きることを応援する社会づくりが大切だと思います。

8 日本人は自ら生を止めることを美化する文化があると聞いたことがあります。

1 日本の昔話から日本女性の生き方を説かれたのは初めてであったので、生き方の意味を改めて考える機会となりました。

2 先生の一生懸命なお話ありがとうございました。

3 三〇年ほど前、箱庭療法の話聞いたことがあるが、今日のお話で「箱庭は薬」と言うことでもう一度学びたいという気になった。自殺を文化として考えることに初

「死」について考える機会が少ない中で、自殺（自死）が美化されて取り上げられた事柄だけが情報として存在するからではないでしょうか。若いころから「死」について考える機会をつくっていくことが大切だと思います。

9 大学生を持つ親として、関わり方について考えさせられました。自殺願望を持つ人とのように関わっていけないのかも少しお話を聞きたかった。

10 このような会がある事を知ることが出来てよかったです。自分の死、身近な大切な人の死、死そのもの、別れ、そのあとの大切な人の死後残された生活を考えると怖くて怖くて参加させていただきました。死を受け入れられるように強くなりたい。そんな勉強はどうすればできるでしょうか？フランクに集える、週一回位の会があれば？箱庭やアートセラピーをその会ですることが出来れば？フランクに死について語り分かち合える場、会があれば・・・など自分勝手ですがそういう会を作ってくださいと助かります。

11 自殺される人の気持ちは、その人にしか分からないと思う。無意識下の何かに動かされているのだろうという話も共感しました。若い人の自殺を身近で体験すると自分の無力さをととても感じます。イレエネ先生の生きざまに感動いたしました。

12 とても思いが伝わる講演でした。私の死にたい気持ち少し昇華できたかもしれないです。ありがとうございました。

13 日本の文化の奥深さを「自殺願望を持つ人」の講演会で聞いたことはとても驚きであり感動いたしました。源氏物語がカウンセラーにつながっていたとは興味深く、先生が河合卓雄先生から影響を受けたことを聞いて、河合先生の素晴らしさを改めて教えてもらいました。日本で活躍してくださったイレエネさんありがとうございました。

14 久しぶりに自分をしっかり見つめられました。ありがとうございました。

15 生きる力 エネルギーが伝わってくるお話でした。自殺願望を持つ人たちの辛さが伝わってきました。

16 生と死について自分で深く考えさせられるとても有意義な勉強会でした。

イレエネさんのパワフルな生命力に触れることで私も勇気を与えられました。自殺願望の者に寄り添ってまた生きていきます。先生に及ばないまでも自分のパワーを引き出して・・・。

17 源氏物語、明恵の夢、河合隼雄の昔話など思いもよらない話との関連でのお話なのに日本人として改めてびっくりしました。短い時間に語るには、深い内容だと思っておりますが、それぞれが今後の勉強のきっかけとなれば良いと思います。



今後の予定

第二回勉強会&第一回語り合いの会

日時 平成二十七年一〇月二五日(日)
一三時半～一五時半

会場 三重県教育文化会館三階第五会議室
講師 荒木求州(あらき もとくに)氏
演題 「癌を体験して 過去・現在・未来」

施設見学会 2～3月ごろを予定計画中

名古屋市「南生協よってつて横丁」
南生協病院との地域連携の形を見学

第三回勉強会&第二回語り合いの会

日時 平成二八年二月二一日(日)午後
会場 三重県総合文化センター大研修室
講師 廣田 圭(ひろた けい)氏
演題 「若年で癌を体験して パート2」

平成二八年度総会

日時 平成二八年四月一七日(日)午後
会場 三重県総合文化センター視聴覚室
総会後に勉強会も開催の予定です。

当会発足一八周年記念講演会

日時 平成二八年七月二四日(日)午後
会場 津アストホール(津駅隣接)

映画「つむぐ」上映と、その中に登場される船戸先生の講演を行う予定です。



イントロダクション ストーリー キャストとスタッフ 予告編

つ・む・ぐ
織人は風の道をゆく

2013年98分 吉岡敏朗 監督
映画紹介サイト www.tsumugu-movie.com/

●講師 船戸崇史(ふなと たかし)氏



一九五九年生まれ。
岐阜養老町に船戸ク
リニック開業。東洋
医学、補完代替医療
等も取り入れ独自の
診療を継続。

編集後記

日本は近代的な民主国家といえるのだろうか、真剣に疑わざるをえない状況だ。政府が国民の民意を平気で踏みにして、どんどん右傾化している。まるで独裁政治だ。しかし、かつてない規模で「憲法を守れ」という運動が日本中に広がり高まった。「教え子を再び戦場に送らない」という教育者の信念も今また現実味がある。母親達は「誰の子も殺させない」と訴え、若者達は憲法9条の精神を自らの骨肉としてたのもしく行動する。いまこそ戦後七〇年の真価が問われている。私たちの会も誰一人として戦争を望む者はいない。(Y)

